法　学　号　外
平成 30 年 5 月 9 日

各私立高等学校長

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

第 17 回「聞き書き甲子園」について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、参加を希望される場合には、応募方法を確認の上、所定の書類を平成 30 年 6 月 25 日（月）までに事務局宛て直接申し込み願います。

【担当】私学振興担当　竹内
電話 019-629-5041　FAX019-629-5049
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：AH0007@pref.iwate.jp

事　務　連　絡
平成３０年５月１日

各都道府県私立高等学校等主管課 御中

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課

第１７回「聞き書き甲子園」について（依頼）

標記事業は、全国の教育関係者や林業・水産業関係者をはじめ、民間団体・企業の協力を得て、全国の高校生が、森や海・川の名人の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法で記録し、社会に広くアピールする取組です。

本年度も、別添文書のとおり実施されますので、本事業の趣旨を御理解いただき、域内高等学校等への周知、及び参加高校生の推薦等について御協力頂きますようお願いします。

なお、本事務連絡は、各都道府県教育委員会の高等学校主管課、生涯学習・社会教育主管課宛にもお送りしておりますが、私立高等学校に在籍する皆様にも広く御参加頂けるよう、貴課宛にもお送りしておりますこと申し添えます。

＜参考＞

内容：第１７回　「聞き書き甲子園」
主催：第１７回聞き書き甲子園実行委員会
（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、
公益社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、
ＮＰＯ法人共存の森ネットワーク）
事務局：（特非）共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局
（ＴＥＬ：０３－６４３２－６５８０）

※ 実施要領の内容、推薦方法等に関するお問い合わせは、上記事務局あてに御連絡ください。

岩手県
30.5.-7
法学第　号

＜担当＞
文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課
民間教育事業振興室民間教育事業第二係
（担当：為近）
ＴＥＬ：０３－５２５３－４１１１（内線２６４２）

平成３０年５月１日

各都道府県私立高等学校等主管課　御中

聞き書き甲子園実行委員会

「第１７回 聞き書き甲子園」について（依頼）

時下、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。平素より「聞き書き甲子園」へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本事業は、農林水産省と文部科学省の連携により、地域の生活様式・文化・伝統・芸能など、今まさに忘れられようとしている山の暮らしや埋もれかけている生業・技能を次の時代に語り受け継ぐため、高校生が「森の名手・名人」「海・川の名人」※1にじかに接し、若者らしいみずみずしい感性と感動とともに、「聞き書き」※2を行う事業として、平成１４年度から実施しております。現在は農林水産省、文部科学省、環境省、（公社）国土緑化推進機構、（公社）全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、（特非）共存の森ネットワークの７者からなる実行委員会で当事業を主催しています。

つきましては、ポスターおよびチラシをお送りしますので、域内私立高等学校への周知をお願いいたします。配布用のポスターおよびチラシは、各都道府県林務課宛にお送りし、発送も林務課から行って頂きますので、域内私立高等学校の住所録を林務課まで御提供頂きますとともに、域内高等学校への周知される際には、林務課と連名で通知してくださいますようお願いいたします。なお、各都道府県林務課には、この旨別途、御連絡させて頂いております。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

※１　森林、海、川にかかわる分野において優れた技や知見をもってその業を究め、他の生活者の模範となっている達人
※２　「聞き書き」とは、語り手の話を聞き、その言葉を記録することにより、語り手の技や人柄などを表現する手法

＜本件問い合わせ先＞
（特非）共存の森ネットワーク内　聞き書き甲子園実行委員会事務局（関・森山・吉野）
TEL:03-6432-6580 FAX:03-6432-6590 MAIL:info@foxfire-japan.com

「第１７回聞き書き甲子園」　実施要領

【趣旨】

国土の７割を森林が占め、四方を海に囲まれた日本において、人々は古くから森や海・川の自然を持続可能なかたちで利用し、自然との日常の関わりの中から生活様式・文化・伝統・技能等を育くみ、受け継いできました。

しかし、都市化が進み多くの若者が自然との関わりを失う一方、農山漁村では過疎化・高齢化が進み、農林漁業活動が低迷する今日、先人から受け継がれてきた知恵や生活技術も失われようとしています。

地球環境の保全のため、私たち一人一人の行動が求められている今、私たちは、今まさに忘れられようとしている先人から受け継いできた知恵や生活技術を改めて見いだし、地域の生活様式・文化・伝統・技能等を次世代に引き継いでいかなければなりません。

こうしたことから、全国の高校生が『森の名手・名人』や『海・川の名人』を訪ね、名手・名人の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法を用いて記録し、社会一般に広くアピールする「聞き書き甲子園」を始めました。

『森の名手・名人』や『海・川の名人』への「聞き書き」を通して、地域の自然と人との関わりをより広い視野で捉え、持続可能な社会づくりを担う高校生の育成を目指します。

（注）この取組は、先人たちから受け継いだ知恵や生活技術を改めて見出し、次世代に継承することを通じて、人と自然が共存する新たな価値観とライフスタイルを提唱し、持続可能な社会づくりに貢献する「もりのくに・にっぽん運動」の一環として実施しています。

「もりのくに・にっぽん運動」では、「聞き書き甲子園」の実施とあわせて、森や川・海の自然を守り育て、その恵みを暮らしに活かすための優れた知恵や生活技術を先人から受け継いできた人々を「森の名手・名人」「海・川の名人」として選定・表彰しています。

【主催】

聞き書き甲子園実行委員会
（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、ＮＰＯ法人共存の森ネットワーク）

【スケジュール】

平成３０年
５月１０日　　募集開始
６月２５日（月）募集締切り
７月下旬　　参加者決定
　※参加決定者及び担当教諭の方へは事務局より直接ご連絡いたします。
８月11日（土）～14日（火）　事前研修（於：東京）
　※「聞き書き」の手法を学ぶ講義、実習等を実施。
８月下旬　　取材先名人決定
　※取材先は原則、同都道府県内の名人と組合せをいたしますが、まれに他都道府県へ取材いただく場合もあります。その場合は事前に高校生へ確認いたします。
９月～12月　取材・「聞き書き」レポート作成（於：全国）
　※取材は原則、高校生一人で行っていただきます。
１２月下旬　　レポート提出締切り
平成３１年
３月１６日（土）フォーラム開催（於：東京）
　※参加高校生と名人による体験談等を通して１年間の成果報告を実施。一般公開。

【募集要領】

１．参加資格：参加資格は、高等学校等※に在籍する生徒とします。なお、これまでに「聞き書き甲子園」に参加した経験のある方は、参加いただくことができません。

※定時制、通信制の高等学校、高等専修学校、特別支援学校（盲学校、ろう学校及び養護学校）、フリースクールの高等部等に在籍する生徒も含む。

２．募集定員：「森の名手・名人」への聞き書き　もしくは
「海・川の名人」への聞き書き　計１００名
（各都道府県教育委員会からの推薦者を含む）

３．参加費用：無料　※下記の費用について、実行委員会が負担します。但し、先生が引率される場合、また、保護者の方が同伴される場合の費用は、各自ご負担いただきます。

① 「事前研修」：研修場所（東京）までの往復旅費、研修期間中の宿泊費
② 「聞き書き取材」:聞き書き実施場所までの往復旅費（２回分）
③ 「フォーラム」:参加者のフォーラム開催場所（東京）までの往復旅費、宿泊費

４．応募方法

参加希望者は、参加申込書に必要事項を記入し、参加希望動機を書いた作文（400字程度）とあわせて、6月２５日（月）必着で郵送してくださ

い。参加申込書は聞き書き甲子園のホームページよりダウンロードしてください。また、ホームページにある専用フォームからの申し込みも可能です。

（注）都道府県教育委員会を通して応募する場合は、都道府県教育委員会の締切日に従ってください。また、参加推薦調書を用いた場合は、一般の参加申込用紙の記入は必要ありません。

（注）FAX による応募は受け付けません。

5．応募条件

応募に当たっては、以下の項目を全て満たしていることが条件となります。

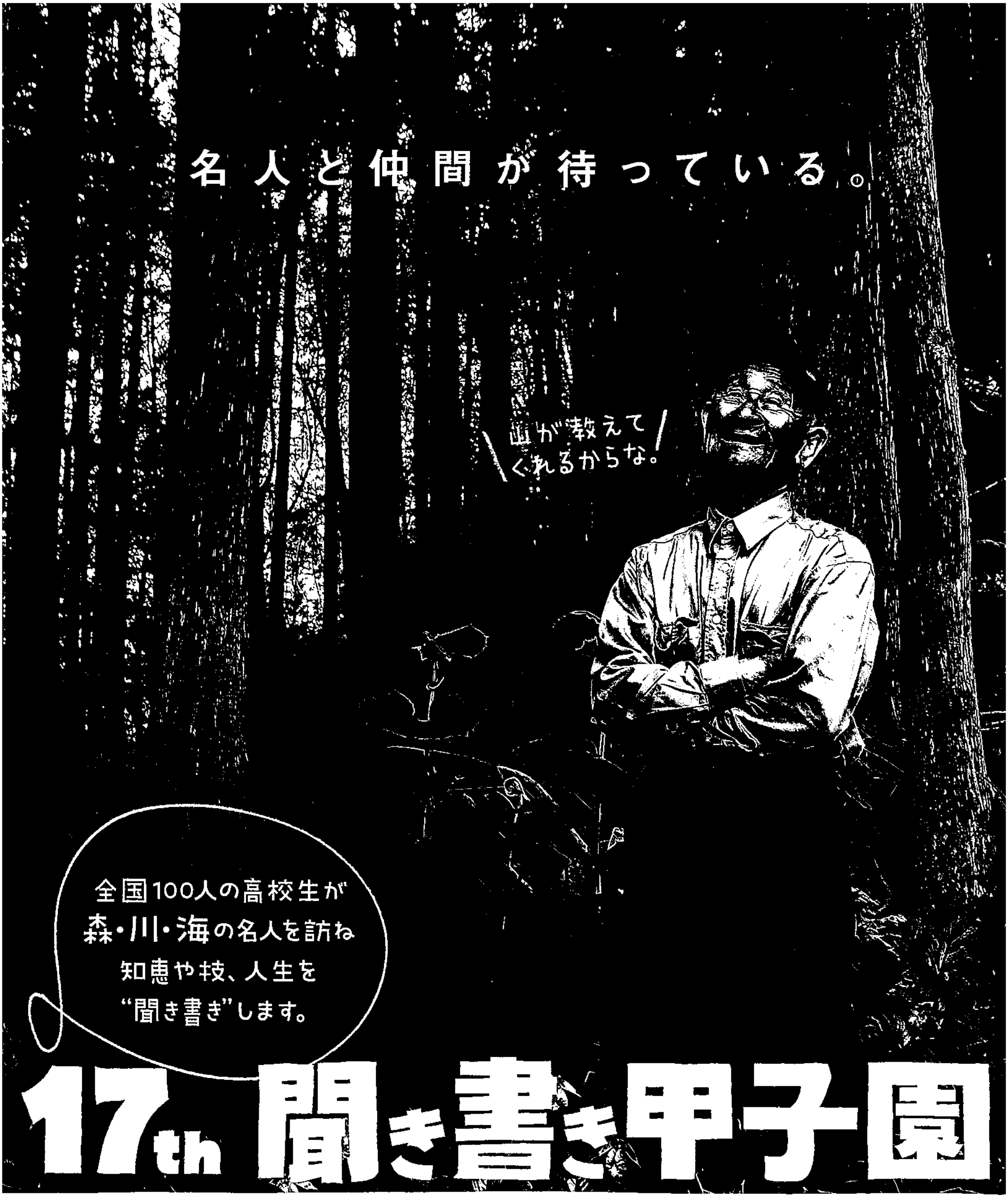
- 「聞き書き」成果（レポート：5,000 字程度）を提出できること
  （成果（レポート）を提出いただかなかった場合、実行委員会が負担した経費相当額を返還いただく場合があります。）
- 平成３０年８月１１日（土）～１４日（火）に実施する「事前研修会」に参加できること
- 保護者の同意を得ていること
  （参加申込書の「保護者」欄は、原則、保護者の方に記入していただくようお願いします。また、保護者の方の押印がないものは受付できません。）
- 参加者が取材活動等を行う際のアドバイスや緊急時等における事務局と参加者との間の連絡、調整をしてもらえる担当教諭がいること
- 参加者の氏名、所属学校名等、学年が公表されることに同意すること
  （記者発表資料、ホームページ等で参加者の氏名、所属学校名等、学年を公表することになりますのであらかじめご承知おきください。）
- 参加者が自ら作成した「聞き書き」成果（レポート）及び取材時に撮影した写真（動画を含む。以下同じ）並びに描写したスケッチ等について、当事業の普及のために実行委員会が御本人の許可を得ることなく使用する場合があることに同意すること
  （ホームページ、各種政府広報等で使用することが予想されます。）
- 実行委員会等が「聞き書き研修」等の際に参加者を撮影した写真について、当事業の普及のために御本人の許可を得ることなく使用する場合があることについて同意すること
  （ホームページ、各種政府広報等で使用することが予想されます。）

【決定通知】

申込者多数の場合、参加希望動機の作文による選考を行います。選考結果は、７月末までに、参加決定者に対して直接通知します。

【申込み・問合わせ先】

〒156-0043　東京都世田谷区松原 1-11-26　コスモリヴェール松原 301
聞き書き甲子園実行委員会事務局(ＮＰＯ法人共存の森ネットワーク内)
TEL:03-6432-6580　FAX:03-6432-6590　E-mail:info@foxfire-japan.com



主 催 聞き書き甲子園実行委員会　http://www.foxfire-japan.com

農林水産省/文部科学省/環境省/公益社団法人国土緑化推進機構/公益社団法人全国漁港漁場協会
全国内水面漁業協同組合連合会/NPO法人共存の森ネットワーク

募金協力・企業寄付　株式会社ファミリーマート　　助成　日本財団

協賛・協力　トヨタ自動車株式会社/富士フイルムホールディングス株式会社/京王電鉄株式会社/株式会社ティムコ
株式会社長塚電話工業所/株式会社トンボ/株式会社ベネッセコーポレーション/マルハニチロ株式会社
一般財団法人環境文化創造研究所/公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会/公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

後援　全国知事会/全国市長会/全国町村会/公益社団法人経済同友会/経団連自然保護協議会

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

参加者募集中!!

ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じてこの活動を支援しています。

FamilyMart

「聞き書き甲子園」って何？

全国から選ばれた100人の高校生が、森・川・海の名人を訪ね、一対一で、その知恵や技（わざ）、ものの考え方や生き方を記録。その「聞き書き」の成果を発信する活動です。

“名人”とは？　木こり、炭焼き、木工職人、木桶職人、宮大工、猟師、鍛冶師、漁師、海女、船大工、紙すき職人など、自然と関わる仕事に従事し、先人からの知恵や技術を受け継いできた人たちです。

2018年

- **6月25日** ●応募締切
- **7月下旬** ●参加者決定
- **8月11～14日** ●事前研修会（3泊4日）［於・東京］
- **9～12月** ●名人への取材（原則2回） ●聞き書き作品づくり
- **12月下旬** ●聞き書き作品提出

2019年

- **3月16～17日** ●成果発表会（1泊2日）［於・東京］

高校生100人が東京に集まり、「聞き書き」の手法を学びます。研修会は卒業生が中心となって運営。参加高校生の指導や相談にもあたります。

名人を訪ね、一対一で対話。そのインタビューを録音し、働く現場の写真を撮ります。録音をすべて文字に書き起こして整理し、「聞き書き」の作品に仕上げます。

参加高校生が再び東京に集まり、「聞き書き甲子園」で学んだことを発表し、パネルディスカッションを開催。将来の夢や目標などについて話し合います。

「聞き書き甲子園」に参加すると…

視野が広がる

名人の仕事場を訪ね、現場を見て、歩き、話を聞く。その技や知恵を学び、多様な生き方や働き方を知ることで、知識や視野がグンと広がります。

自分と向き合う

名人との対話を何度も反芻（はんすう）し、その人生としっかり向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。

未来をつくるヒントを得る

全国から参加する100人の仲間と名人、さらに高校生をサポートしてくれる卒業生の先輩たち。「聞き書き」の出会いは、自分の未来を考えるヒントになります。

卒業生が全国で活躍しています。

聞き書き甲子園を終えた後も、さまざまな地域活動に取り組む卒業生たちが全国にいます。NPO法人共存の森ネットワークは、そんな卒業生を中心に、ローカルアクションや「聞き書き」に関心のある仲間たちが集う場です。

募集内容

- ●参加資格：高校生　●募集人数：100人　●参加条件：東京での事前研修会に参加。名人を取材し、聞き書き作品を期日までに提出すること。
- ●参加費用：無料 ※事前研修会、取材、成果発表会の参加に係わる旅費は主催者が負担。
- ●応募方法：参加申込書と「聞き書き甲子園」への参加動機を書いた作文（400字程度）を事務局まで郵送してください。
  「聞き書き甲子園」のホームページ（http://www.foxfire-japan.com）から申し込みもできます。
- ●応募締切：2018年6月25日（月）必着 ※選考結果は7月末までに郵送で通知します。

申込み・問い合わせ先

〒156-0043　東京都世田谷区松原1-11-26　コスモリヴェール松原301
聞き書き甲子園実行委員会事務局（NPO法人共存の森ネットワーク内）
TEL：03-6432-6580　FAX：03-6432-6590　E-mail：info@foxfire-japan.com

聞き書き甲子園 🔍